



平成30年11月9日

各位

上場会社名 青山商事株式会社  
 代表者 代表取締役社長 青山 理  
 (コード番号 8219)  
 問合せ先責任者 常務執行役員企画管理本部長 財津 伸二  
 (TEL 084-920-0050)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月11日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	261,500	20,000	20,600	11,400	225.84
今回修正予想(B)	252,700	15,000	15,850	6,420	128.45
増減額(B-A)	△8,800	△5,000	△4,750	△4,980	
増減率(%)	△3.4	△25.0	△23.1	△43.7	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	254,846	20,591	21,311	11,461	224.81

平成31年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	192,780	17,200	18,230	11,340	224.65
今回修正予想(B)	186,170	13,600	14,840	7,860	157.27
増減額(B-A)	△6,610	△3,600	△3,390	△3,480	
増減率(%)	△3.4	△20.9	△18.6	△30.7	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	188,853	18,260	18,578	11,438	224.35

修正の理由

《連結業績予想及び個別業績予想》

ビジネスウェア事業及びカジュアル事業の業績が前回発表予想を大幅に下回る見込みであることから、平成30年5月11日に公表した平成31年3月期の通期連結業績予想及び通期個別業績予想を上記のとおり修正いたします。

中核事業であります青山商事(株)ビジネスウェア事業の上期については、猛暑と豪雨等による天候要因及びそれに伴う災害による影響もあり、既存店売上高は前年同期比96%(前回発表予想は前年同期比101.5%)となりましたが、下期の既存店売上高は前年同期比100%(前回発表予想は前年同期比102.6%)を目指してまいります。

＜青山商事(株)ビジネスウェア事業 既存店売上前期比の前提＞

上期実績(前回発表予想) 96.0%(101.5%)

下期予想(前回発表予想) 100.0%(102.6%)

通期予想(前回発表予想) 98.4%(102.2%)

## ● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成30年5月11日発表)	—	50.00	—	110.00	160.00
今回修正予想	—	—	—	50.00	100.00
当期実績	—	50.00	—		
前期実績 (平成30年3月期)	—	50.00	—	120.00	170.00

(注) 30年3月期配当金の内訳

普通配当 100円00銭(第2四半期末50円00銭、期末50円00銭) 特別配当 70円00銭(期末70円00銭)

31年3月期配当金(予想)の内訳

普通配当 100円00銭(第2四半期末50円00銭、期末50円00銭)

### 修正の理由

上記のとおり、平成31年3月期の業績予想が当初計画を下回る見通しとなったことから、中期経営計画『CHALLENGE II 2020』の株主還元方針に則り、当期の配当予想につきましては、前回予想の1株当たり160円から、安定配当である1株当たり100円に修正いたします。

<参考> 『CHALLENGE II 2020』株主還元方針

#### 1. 株主還元方針

中期経営計画期間中(2018年度から2020年度)、連結総還元性向100%を目処とした配当、自己株式取得を行う。

#### 2. 配当方針

連結配当性向70%を目処とする。

安定的な配当である普通配当を1株当たり100円(中間配当50円、期末配当50円)とし、配当性向70%を目処に計算した配当が100円を上回る場合は、その差を業績連動配当として期末に特別配当を実施する。

#### 3. 自己株式取得方針

連結当期純利益の100%から配当総額を差し引いた金額を目処に自己株式の取得を実施する。

なお、業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上